

平成27年度 女性のチャレンジ賞表彰受賞者

1. 女性のチャレンジ賞(受賞者5名、受賞団体1件)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	アリマ マキコ 有馬 牧子 (東京医科歯科大学)	東京都	<b>育児・介護と仕事との両立支援ニーズに対応した「女性研究者ネットワーク」を確立</b> 女性の比率が少ない医療系大学において、女性研究者が育児や介護を経ても活躍しやすい環境を整備するための改革とキャリア支援に取り組む。その活動は単一の大学内にとどまらず、他の医療系大学や文京区との連携も図り、広範な両立支援ニーズに対応した「女性研究者ネットワーク」を確立。育児や介護などのライフステージにおいても、女性研究者がキャリア形成を継続できるための支援を行っている。 (表彰歴) 第7回更年期と加齢のヘルスケア学会学術奨励賞受賞(平成20年)、国際ソロプチミスト鹿児島・日本財団女性研究者賞受賞(平成25年)
2	ウタガワ ヨウコ 雅楽川 陽子 (有限会社 COCO-LO代表取締役)	群馬県	<b>柔軟な勤務形態で女性の有資格者に雇用を創出</b> 作業療法士等の有資格者が病院以外の施設でリハビリサービスを中心に提供する、通所型の介護サービス事業を起業。育児や介護等により、専門的な資格を持ちながらも就労できない地域の人材に対し、活躍の場を提供。社員のニーズをきめ細やかに汲み上げ、短時間勤務が可能となる準社員制度等を導入。 (表彰歴) 経済産業省「がんばる中小企業・小規模事業者300社」選出(平成25年)、ダイバーシティ経営企業100選(経済産業大臣表彰)選定(平成25年)、「子どもと家族・若者応援団」特命担当大臣表彰(平成25年)、「キャリア支援企業表彰2013」厚生労働大臣表彰(平成25年)、「平成26年度均等・両立推進企業表彰ファミリー・フレンドリー企業部門」厚生労働大臣優良賞(平成26年)
3	佐藤 イネ子 (合同会社 イネ子の畑から)	青森県	<b>女性農業経営士として、多角的な経営展開により地域活性化に尽力</b> 青森県で初めて農業経営士の認定を受けた女性経営者。廃油暖房機を利用した冬獲りアスパラガスや大玉1果狩りメロンの導入など、自然災害や価格変動に左右されない地域農業の経営の複合化モデルとなる取組を実施。 (表彰歴) 意欲溢れる「攻めの農林水産業」優秀賞(平成25年)、青森県いきいき男女共同参画社会づくり表彰 奨励賞「女性のチャレンジ部門」(平成26年)
4	ツチダ シオリ 土田 葉 (釧路公立大学 経済学部4年)	北海道	<b>携帯アプリ「陣痛ダイアリー」を開発し、マタニティ支援に寄与</b> 陣痛間隔を記録することで病院にいくタイミングを通知する、スマートフォン向けアプリ「陣痛ダイアリー」を開発。遠隔地のため簡単に病院に行くことができない妊婦や初産の妊婦の不安解消に役立っている。出産や子育て経験のない女子大生が、母性学講習への参加、妊婦体験、助産師のアドバイス等を受けながら、アプリ開発・改良に取り組む。 (表彰歴) アプリコンテスト経済産業省北海道局賞(平成27年)
5	フクシマ トミコ 福島 登美子 (ブリリアントアソシエイツ株式会社 代表取締役)	鳥取県	<b>女性の視点から、地域資源を活かした観光と食をプロデュース</b> 地域の活性化を企図とした飲食事業や観光事業を幅広く展開する起業家。華やいた食卓を飾ってもらいたいとの思いから、鳥取県産のピーズ(赤かぶ)で色付けしたピンク色の「ピンク華麗(カレー)」や「ピンク醤油」を開発し、古民家を改装したカフェで提供。観光事業では、電動アシスト付三輪自動車による国指定重要文化財等の観光スポット回遊などのエコツーリズムを実現。 (表彰歴) 第17回中国地域ニュービジネス大賞特別賞受賞(平成21年)、全国商工会議所女性会連合会「女性起業家大賞」グロース部門優秀賞受賞(平成26年)
6	農事組合法人 きすみの営農 女性部「きすみの・ふあ〜む」 (取りまとめ役 黒田 亜子) クログダ アコ	兵庫県	<b>新たな地域農業の担い手として農業未経験の女性達が活躍</b> 農業未経験の女性達が大型農業機械を操るまでに成長し、新たな農業の担い手として活躍。女性の加入により、平日の基幹オペレーターが確保され、安定した営農活動に貢献。機関誌の発行や地元の小中学校を対象に食育教育を展開する等、地域農業の活性化に繋がっている。 (表彰歴)※農事組合法人きすみの営農の表彰歴 農林水産省「全国優良経営体表彰」農林水産省経営局長賞受賞(平成25年)、「年近畿農政局男女共同参画優良事例表彰」経営参画部門受賞(平成26年)

## 2. 女性のチャレンジ支援賞(受賞団体3件)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	女性の活躍推進福岡県会議 (代表 久留 百合子、松尾 新吾)	福岡県	<b>地域経済界主導で企業や団体、地域における女性活躍推進の取組を促進</b> 県内の経済界を中心に産官学民一体となって発足した全国初の運動組織。「女性大活躍推進宣言登録制度」により、企業や団体の女性管理職登用目標の数値を「見える化」し、地域における企業・団体の取組を後押し。設立約2年で185の企業・団体が自主宣言を登録。女性管理職ネットワーク「WE-Net福岡」を立ち上げ、グループ活動や企業の人事担当向けリーフレットの作成等を通じ、経営層や地域社会への働きかけを行っている。
2	岡崎ビジネスサポートセンター OKa-Biz(オカビズ) (センター長 秋元 祥治、 副センター長 高嶋 舞)	愛知県	<b>男性相談員が比較的多い経営支援において、女性視点を活かしたサポートを実施</b> 市の中小・小規模事業者のビジネス相談拠点として、売上アップを目的とした提案型支援を実施。女性のパワーアップDAYを定め、女性相談員の積極的な配置、女性講師によるチャレンジセミナー等の開催により、敬遠されがちであった女性からの相談を呼び込み、新規創業や女性の視点を活かした販路開拓など実績を生んでいる。直近1年間の相談件数は約1700件、そのうち女性からの相談が3割を占めるなど、高いパフォーマンスを出している。
3	東近江市商工会・八日市商工会議所 (東近江市商工会長 川瀬 重雄 八日市商工会議所会頭 田中 敏彦)	滋賀県	<b>身近な分野における起業に向けた第一歩を踏み出すチャンスを創出</b> 女性が雑貨店やカフェなど小さなお店を開くことに的を絞り、そのためのノウハウを学ぶ「創業塾」を開催。3年間で参加者74名(8割は主婦や会社員)のうち25名が創業するなど高い実績を上げている。講師や事務局の担当は全て女性を配置し、託児サービスを併設するなど、女性が安心して参加しやすい状況に工夫を凝らしている。チャレンジショップの出店機会を設けたり、創業塾修了後も継続的に創業や事業継続に向けたきめ細かいフォローを行っている。

## 3. 女性のチャレンジ賞特別部門賞(受賞者2名、受賞団体1件) (テーマ:「家事・子育ての経験等を活かしたチャレンジ」)

(順不同)

番号	候補者	都道府県	活動概要
1	川村 美津子 (特定非営利活動法人 つどい 理事長)	滋賀県	<b>子育てをしながら計画的に資格を取得し、介護や農業を通じた「地域づくり」を実践</b> 結婚を機に退職し、子育てしながら家業を手伝う中、自ら目標を定め、計画的にホームヘルパー、ケアマネージャー、介護福祉士等の資格を取得し、高齢化が進む地元の地域づくりを進めるためにNPO法人を設立。柔軟な勤務時間で若い育児世代の母親を積極的に採用するなど、地域の雇用創出に貢献。耕作放棄地を活用し、子どもから高齢者、障害者が集える農業によるコミュニティビジネスを展開。
2	松崎 美穂子 (特定非営利活動法人 子育て支援ネットワークとくしま 理事長)	徳島県	<b>自身と同じ悩みを抱える母親に向けて幅広い活動を行い、地域での取組をリード</b> 結婚を機に転居し、見知らぬ土地での出産・子育てに悩んだ経験から、平成2年より、県内での子育て支援団体の筆頭として、多様なライフスタイルに対応した子育て支援を推進。子育てに悩みを持つ母親への家庭訪問型子育て支援、シニア子育てサポーターの育成、「赤ちゃん授業」による若年層への啓発、子育て防災講座やパパ講座の実施など、幅広い活動により子育て環境の向上に貢献している。  (表彰歴) 社会貢献者表彰(社会貢献支援財団)(平成20年)、第35回母子保健奨励賞(公益財団法人母子衛生研究会)(平成25年)
3	特定非営利活動法人 育自の魔法 (代表 山口 ひとみ)	埼玉県	<b>専業主婦の経験から、孤独感を抱える母親に向けて、そして、すべての人へ、本音で語れるワークショップを開催</b> 妊娠を機に退職するも孤独感や焦りがつづいた経験から、同じ悩みを抱える母親が本音で語れる場を作ろうとNPOを立ち上げた。対象は子育て世代から男性や独身の方、お子さんのいらっしゃる方、高齢者や大学生まで幅広く参加するようになった。国内にとどまらず、イギリスや中国、ベトナムにて在住日本人や外国人を対象にワークショップを開催するなど、広がりを見せている。また英語でのワークショップ開催も始まっている。